

【静岡県の陸・海・空のネットワークの形成、美しい港湾景観の保全と創造】

指標① 施設の利便性を向上させるため、改良・補修の整備率を21.1%（H25）から26.3%（H29）に増加させる。

（1）指標の考え方

港湾は、県民生活と産業活動を支える重要な物流拠点である。今後の港湾の発展や効率的な利用に向けて、施設としての機能を向上させ、静岡県の産業をより活性化させるため、改良・補修の整備率の増加を指標として設定した。

（2）指標の対象

物流拠点施設の利便性を高める港湾整備を対象としている。

（3）指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は26.3%であり、目標値（26.3%）を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
施設の利便性を向上させるため、改良・補修の整備率を21.1%（H25）から26.3%（H29）向上させる。	21.1% （4/19）	26.3% （5/19）	26.3% （5/19）	100%

[整備完了施設箇所数／計画施設箇所数]

指標② 良好な港湾環境の形成を図るため、臨港地区に占める緑地面積率を、5.4% (H25) から6.1% (H29) に増加させる。

(1) 指標の考え方

港湾臨港地区で働く人々のための快適な就労環境を確保し、港湾を訪れる県民等が開かれたウォーターフロントを形成する緑地や海浜等の整備を促進しており、臨港地区に占める緑地面積率の増加を指標として設定した。

(2) 指標の対象

港湾における親水性の向上と賑わいの創出のための緑地整備を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は6.0%であり、目標値（6.1%）の達成には至らなかったが、田子の浦港の港口地区緑地の交流拠点・歴史的教育施設整備が完了する等、賑わいの創出が図られた。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
良好な港湾環境の形成を図るため、臨港地区に占める緑地面積率を5.4% (H25) から6.1% (H29) に増加させる。	5.4% (46.5ha/854.3ha)	6.1% (51.9ha/854.3ha)	6.0% (51.2ha/854.3ha)	85.7%

指標③ 良好な海岸環境の形成を図るため、親水性のある海岸の整備率を96.9%（H26）から97.7%（H29）に増加させる。

（1）指標の考え方

海岸防災機能を確保し、海浜と地域の特性を十分に活かし、観光客及び地域住民が海と親しみ、憩える賑わいの場の創出のため、親水護岸と海岸緑地の整備を進めており、良好な海岸環境の形成を図るため、親水性のある海岸の整備率の増加を指標として設定した。

（2）指標の対象

親水性を高める海岸整備を対象としている。

（3）指標の達成状況

平成29年度末の最終実績値は96.9%であり、目標値（97.7%）の達成には至らなかったが、熱海港海岸と榛原港海岸において整備の進捗が図られた。

計画の成果目標	定量的指標			
	H25当初現況	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
良好な海岸環境の形成を図るため、親水性のある海岸の整備率を96.9%(H26)から97.7%(H29)に増加させる。	96.9% (17.59km/18.16km)	97.7% (17.74km/18.16km)	96.9% (17.59km/18.16km)	0%

(4) 指標に関連する実施事例

1-A1-11 (道路整備)

港湾改修事業 (国際拠点)

(清水港 新興津地区)

●着手前



●対策後



(4) 指標に関連する実施事例

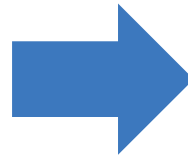
1-A1-5 (緑地整備)

1-C1-1 (交流拠点施設整備事業)

緑地等施設整備事業

(田子の浦港 富士地区)

●着手前



●対策後

交流拠点施設の整備による賑わいの創出



(参考) 富士山ドラゴンタワー



(4) 指標に関連する実施事例

1-A1-9 (堤防改良)

海岸環境整備事業
(熱海港海岸 渚地区)

(参考)熱海ビールフェスティバル



●着手前



●対策後



(5) 今後の方針

引き続き、港湾施設の整備により、物流拠点としての利便性の向上等に取り組んでいく。